

実施設計完了(2021(令和3)年3月予定)後の建設工事の流れ

①敷地造成

北側隣地の用地を取得し、現庁舎境界部において囲いを行い敷地の造成を実施します。



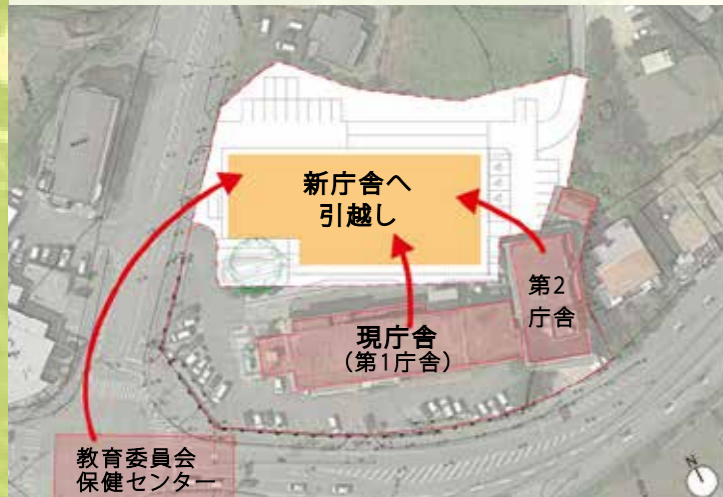
②建築工事・外構工事 2021(令和3)年8月着工予定

新庁舎建設工事、北側駐車場などの外構工事を行います。工事期間中の行政サービスは現庁舎で行い、利用者への影響を最小限にします。



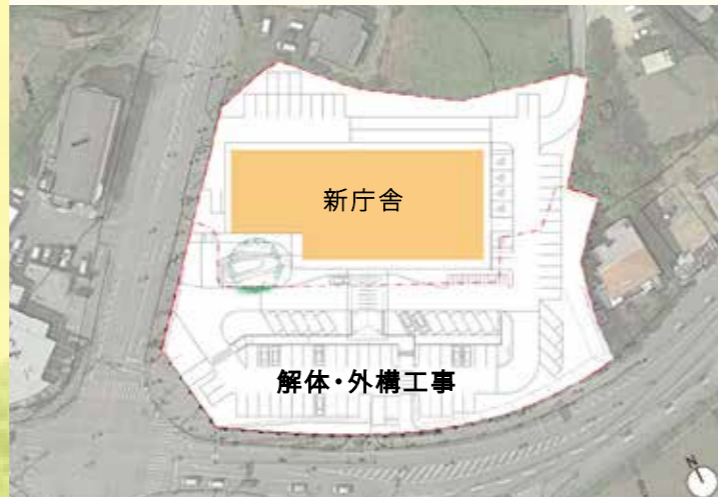
③新庁舎へ引越し 2023(令和5)年1月予定

現庁舎から新庁舎へ行政機能移します。また教育委員会、保健センターからの引越しを行い庁舎機能を統合します。(一部機能は中央公民館、保健センターに残ります。)



④解体工事・外構工事 2023(令和5)年11月完了予定

現庁舎を解体し、来庁者駐車場及び国道側出入口の整備を行います。



今帰仁村新庁舎建設基本設計報告書 (概要版)

令和2年9月



※ガジュマルの取り扱いについては実施設計時に検討します。

鳥瞰イメージパース

概算事業費

約22億4千万円

※実施設計時に事業費全体の軽減に向けて検討を行います。

〈主な内訳〉

- ・委託業務費(基本、実施設計、現場監理)
- ・建築工事費(電気、機械、外構)
- ・備品整備費
- ・移転費
- ・解体、外構工事費

設計の基本的な考え方

1. 村民の拠り所となり、コミュニティの結節をなす

新庁舎は、子どもや高齢者などすべての人々が使いやすいユニバーサルデザイン(普遍的な価値を有するデザイン)を基本とし、人々が自然と集まり、村民の拠り所となる「コミュニティの結節をなす」庁舎を目指します。

2. 使いやすさを第一に村民の利便性向上に配慮する

分散された行政機能を本庁舎に集約するとともに、来庁者が目的の手続き窓口を見つけやすいレイアウトにし、職員が働きやすく行政サービスの質の向上が図れる「村民の利便性に配慮した」庁舎を目指します。

3. 不測の事態や時代の変化を見据え安心・安全と持続可能性を確保する

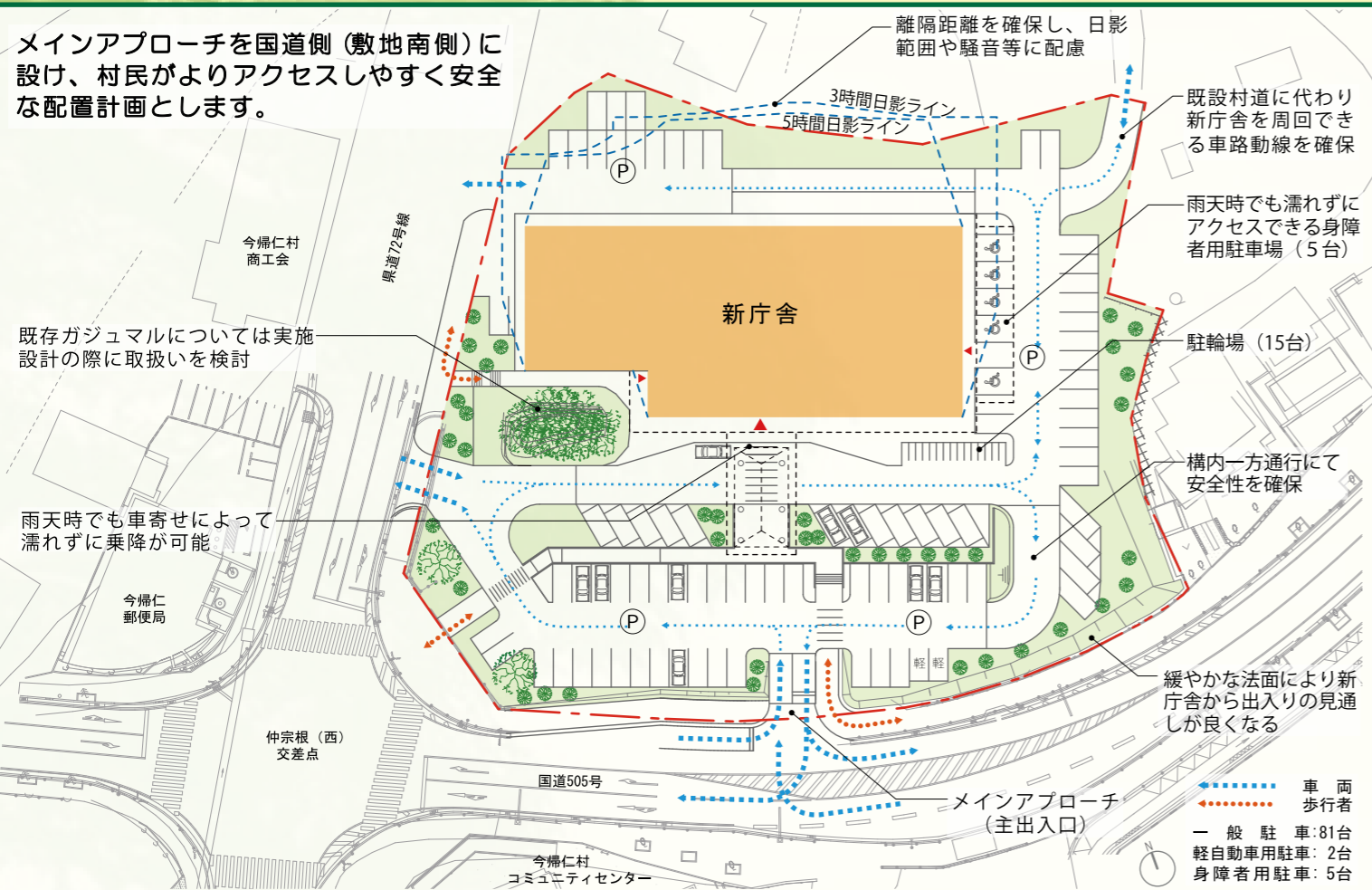
地震や津波、風水害等の災害に備え、防災拠点としての庁舎整備と持続可能な長寿命化により地球環境にやさしい「安心・安全と持続可能を確保した」庁舎を目指します。

問合せ先：今帰仁村役場 総務課

TEL 0980-56-2101 / FAX 0980-56-4270

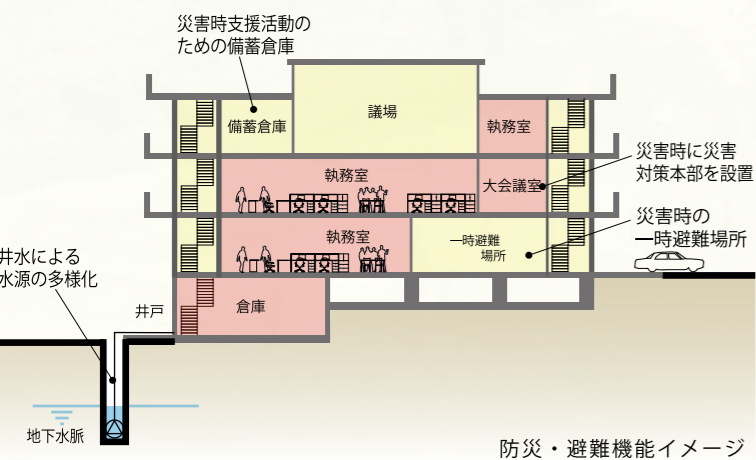
配置計画

メインアプローチを国道側（敷地南側）に設け、村民がよりアクセスしやすく安全な配置計画とします。



防災計画

- 地震、津波、風水害に強く、防災・減災の機能を確保できる安心・安全な防災拠点とします。
- 津波浸水等を考慮し、地盤の高さは現況の庁舎に合わせた計画とします。
- 災害時の支援活動のための備蓄倉庫を配置します。



防災・避難機能イメージ

バリアフリー計画

- 高齢者、身障者等が円滑に利用できる経路を整備
- 視覚障がい者誘導ブロックを設置
- エレベーターの設置
(車いす使用者用制御装置の設置、車いすの転回に支障ない構造、視覚障がい者対応)
- 多目的トイレ (手すり、オストメイト、ベビーシート設置)
- 車いす使用者駐車場 (5台) 設置
- 排水溝に身障者の通行に支障がないよう溝ぶたの設置

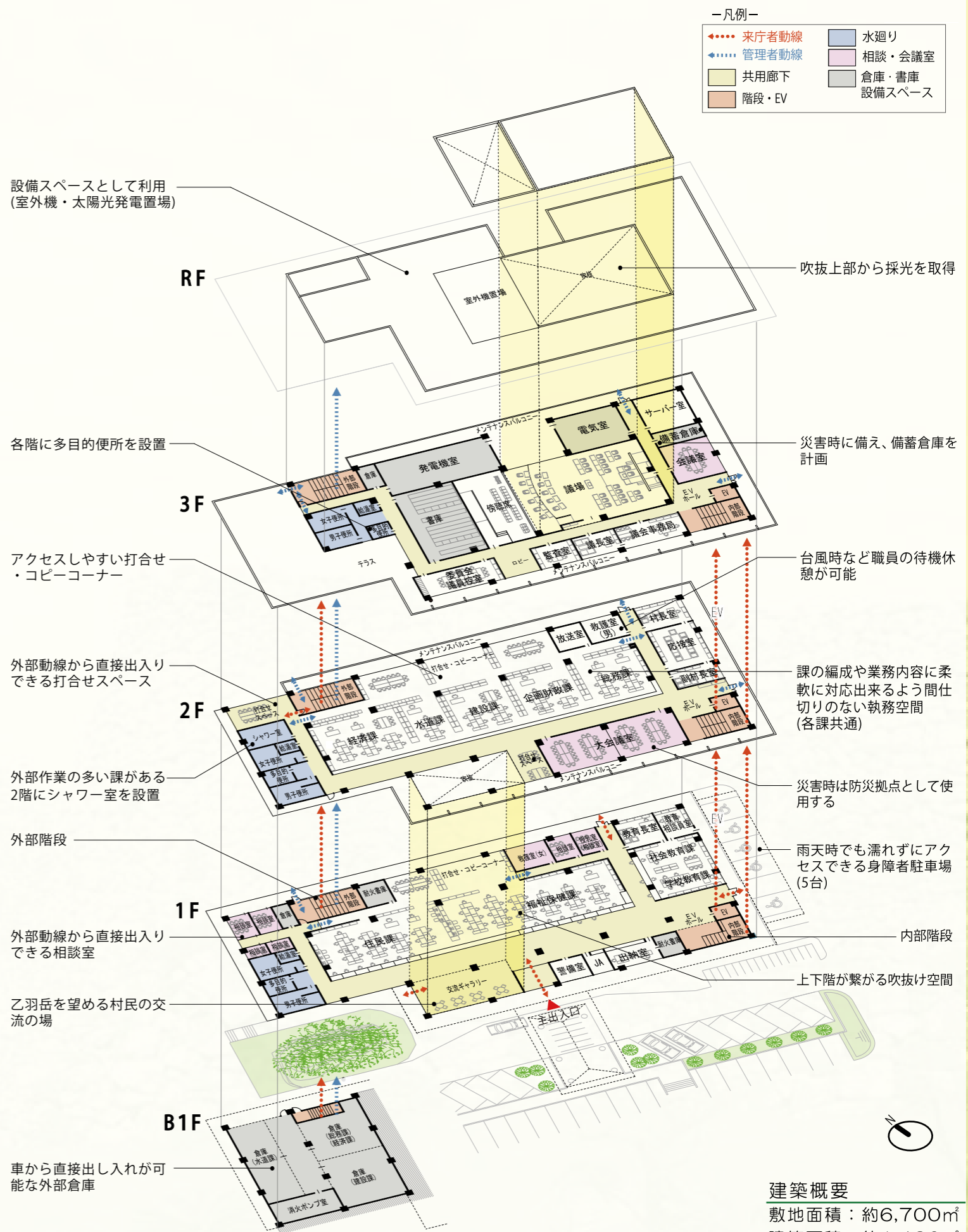
共用部計画

- エントランスホールは、来庁者が各課の場所を把握できるように分かりやすいサイン計画を行います。
- 来庁者の待合わせや休憩など村民が集える空間を計画します。



交流ギャラリーイメージ

平面構成



建築概要

敷地面積：約6,700㎡
 建築面積：約1,430㎡
 延床面積：約3,730㎡
 建物高さ：約16m